

# TMG フォーミュラリー研修会のご案内

本研修会でフォーミュラリーの構築方法について学んでみませんか？フォーミュラリーを構築するといった医薬品評価の目標をもって学ぶことで、単に論文を検索し、評価し、まとめるだけでなく、臨床で応用可能な評価能力を総合的に高めることができます。いきなりフォーミュラリーを構築してください、フォーミュラリーを施設に導入してくださいと言われても、最初の一步を踏み出せない方も多いのではないのでしょうか。

本研修会では、フォーミュラリーの構築方法の基礎を学び、グループワークを通じて実践することで、「フォーミュラリーを構築する力」が身につきます。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

## 記

### 【研修生到達目標】

- ・研修生各自が独立してフォーミュラリーを構築できること
- ・研修生が各施設でWGを運用できること

### 【スケジュール】

- ・毎月第3木曜日(2021年11/18, 12/16, 2022年1/20, 2/17)
- ・14時から17時([Zoom](#))

### 【内容】

- ・事前視聴動画(資料1)と当日の議論形式の演習(資料2)を行います。
- ・構築領域:骨粗鬆症治療薬

事前に講義動画(セッション1・2)を視聴していただき、第1回目の議論形式の研修会にご参加ください。講義動画(セッション3・4)は研修会終了日までにご視聴ください。研修会期間中、ご不明な点がございましたら、講師宛にご連絡ください。

### 【必要なもの】

- ・パソコン又は準じる機器  
(研修会はオンラインで行います。また、論文検索やフォーミュラリー作成等で使用します。)

【講師】金井紀仁(新座病院)、宮本拓也(戸田中央総合病院)、安藤正純(新座病院)

### 【お問合せ】

研修会開始前は[フォーミュラリーHPのお問合せフォーム](#)よりご質問ください。  
研修会開始後は講師へ直接ご質問ください。

(資料1)配信動画:動画は研修期間中、何度でも見放題です。

【事前視聴動画(理解を深めるために、第1回研修会開始前までにご視聴ください)】

セッション1:フォーミュラリーとは

- レクチャー1 フォーミュラリーとは
- レクチャー2 院内フォーミュラリーの効果
- レクチャー3地域フォーミュラリーとは

セッション2:フォーミュラリー構築

- レクチャー4論文検索 2020
- レクチャー5論文を読んでもみよう
- レクチャー6メタ解析の読み方
- レクチャー7論文のまとめ方

【参考動画(第4回研修会終了前までにご視聴ください)】

セッション3:フォーミュラリー運用

- レクチャー8フォーミュラリーWG
- レクチャー9病院への導入方法(作成中)

セッション4:フォーミュラリー要約解説

- レクチャー10 抗インフルエンザ薬
- レクチャー11 カルシウム拮抗薬
- レクチャー12 エリスロポエチン製剤
- レクチャー13 フィブラート系
- レクチャー14H1 受容体拮抗薬
- レクチャー15 インスリン
- レクチャー16 ループ・トルバプタン
- レクチャー17 レニン-アンジオテンシン系阻害薬
- レクチャー18 キサンチンオキシダーゼ阻害薬
- レクチャー19 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬



## (資料2)演習内容(80分×2コマ×4日)

回	到達目標	演習内容	次回までの課題
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDSR を選択できる</li> <li>● CDSR を理解する</li> <li>● 検索式を構築できる</li> <li>● 検索できる</li> <li>● 論文を入手できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマの選定 CDSR の検索</li> <li>● CDSR の内容確認</li> <li>● 検索式の構築</li> <li>● 論文検索</li> <li>● 論文選択</li> <li>● 論文の入手</li> <li>● 評価論文の選定</li> <li>● 論文評価</li> </ul>	<p>入手した論文その1(1報、各班共通)に関して論文チェックリスト※を用いて自分なりに評価する。</p> <p><u>※作成元の日本アプライド・セラピューティクス学会の承認を得て論文チェックリストを使用しています。</u></p>
2	<p>論文の批判的吟味が出来る</p> <p>評価論文をまとめられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題論文評価</li> <li>● 論文選択(各自)</li> <li>● 論文の入手(各自)</li> <li>● 評価論文の選定</li> <li>● 評価論文の選択・入手・配分</li> <li>● 論文評価(各自)</li> </ul>	<p>入手した論文その2(1報、各班共通)を自分なりに評価する</p> <p>課題論文1、2をまとめる。</p>
3	<p>評価論文をまとめられる。</p> <p>科学的に同意形成できる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各自の評価内容を発表</li> <li>● 同等量設定・優先順位づけ</li> <li>● 要約シートの作成</li> <li>● 抄録(400字)</li> <li>● 口頭発表スライド(7分)の作成</li> <li>● ※状況に応じて追加検索する</li> </ul>	<p>要約シートの完成</p> <p>エビデンス集の完成</p> <p>内容の理解と説明の練習</p>
4	<p>説明能力を身に付ける</p> <p>発表スキルを身に付ける</p>	<p>スライド発表(説明7分、質問10分)</p> <p>要約シート・抄録・口頭発表スライドの修正</p> <p><b>最終成果物の発表</b></p>	

CDSR;コクランデータベースシステムティックレビュー、SGD;スモールグループディスカッション